



## 平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年12月12日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東京証券取引所マザーズ

コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 TEL (03) 5723-8500  
四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	3,737	11.2	280	△10.9	333	8.9	171	12.3
24年1月期第3四半期	3,360	-	315	-	306	-	152	-

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 169百万円 (9.5%) 24年1月期第3四半期 154百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年1月期第3四半期	82	73	77	28
24年1月期第3四半期	95	29	-	-

- (注) 1. 平成24年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、平成23年1月期第3四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。  
2. 平成24年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権を発行しておりますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。  
3. 平成23年8月31日付で普通株式1株につき40株の株式分割を行っておりますが、前期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年1月期第3四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年1月期第3四半期	2,518		853		33.9
24年1月期	2,110		684		32.5

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 853百万円 24年1月期 684百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年1月期	-		0	00	-		0	00
25年1月期	-		0	00	-			
25年1月期(予想)							0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,415	17.2	494	25.9	460	22.5	291	27.6	140	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期3Q	2,073,000株	24年1月期	2,070,000株
25年1月期3Q	—株	24年1月期	—株
25年1月期3Q	2,070,011株	24年1月期3Q	1,600,000株

(注) 平成23年8月31日付で普通株式1株につき40株の株式分割を行っておりますが、前期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年1月期第3四半期の期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による企業の設備投資の増加などを背景に、緩やかな持ち直しが見られたものの、欧州債務危機をめぐる不確実性による世界景気の減速や長引く円高などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する家具・インテリア業界におきましても、個人消費は緩やかな回復傾向にはあるものの、法人の収益状況、個人の雇用・所得環境が一進一退していることや企業間競争が激化していることにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような経営環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,737,068千円（前年同期比11.2%増）、営業利益は280,706千円（同10.9%減）、経常利益は333,391千円（同8.9%増）、四半期純利益は171,248千円（同12.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①unico事業

家具カテゴリーにおきましては、売上構成ランキングで上位を占める人気シリーズSIGNEにダイニングアイテムを、学校で使われていたような懐かしいイメージのSKOLAに新アイテムと新色アイボリーを追加いたしました。これらは新規顧客の取り込みに加え、既に同シリーズをお持ちの顧客の追加購入に繋がりました。

カーテンカテゴリーにおきましては、平成24年8月下旬に、お客様がご覧いただきやすいようカーテン什器をより大きなものへ入れ替えるとともに、素材とデザインにこだわったオリジナル企画のアイテムを投入いたしました。これらにより、それ以降の同カテゴリーの売上高は前年同月比約2倍のペースで伸長いたしております。

また、出店状況におきましては、新規出店3店舗（平成24年8月unico金沢、同年9月unico北千住、同年10月unico岡山）及び増床1店舗（同年9月unico札幌）を行い、全国合計24店舗となりました。特にunico北千住は、出店直後のLUMINEカードキャンペーンの影響もあり、好調な滑り出しをいたしました。セグメント利益につきましては、新規出店集中に伴う人件費・地代家賃・販売促進費等の負担増加や上記のカーテン什器の交替等により、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,635,317千円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は288,091千円（同10.5%減）となりました。

#### ②food事業

food事業は、経営理念のひとつである「自分にも地球にも心地よい、健康で感性豊かなライフスタイルの普及」に基づき、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置づけております。

BISTRO KHAMSAは、リピート顧客に支えられ、売上高が好調に推移いたしましたが、Le Bistroとbistro oeuf oeufは、恒常的な人員不足が続いていることによる営業時間短縮の影響を受け、前年同期の売上高を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は101,750千円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失は7,384千円（前年同期はセグメント損失6,658千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,518,334千円となり、前連結会計年度末と比較して407,927千円の増加となりました。

これは主に、店舗数の増加に伴う売上債権の増加62,809千円及びたな卸資産の増加220,434千円、並びに新規出店により取得した有形固定資産の増加67,532千円によるものです。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,664,916千円となり、前連結会計年度末と比較して239,491千円の増加となりました。

これは主に、仕入高の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加81,416千円及び借入金の増加84,185千円によるものです。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、853,417千円となり、前連結会計年度末と比較して168,436千円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金の増加170,044千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年3月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	356,201	360,985
売掛金	206,455	269,265
商品及び製品	594,223	788,311
仕掛品	6,308	12,432
原材料及び貯蔵品	32,253	52,475
繰延税金資産	24,811	24,811
その他	84,680	93,768
貸倒引当金	△749	△969
流動資産合計	1,304,186	1,601,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	399,921	440,260
その他（純額）	43,774	70,969
有形固定資産合計	443,696	511,229
無形固定資産		
投資その他の資産	28,154	33,851
繰延税金資産	45,741	45,741
敷金及び保証金	283,666	321,963
その他	4,960	4,464
投資その他の資産合計	334,368	372,170
固定資産合計	806,220	917,251
資産合計	2,110,406	2,518,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,123	187,539
短期借入金	194,614	246,212
1年内返済予定の長期借入金	315,263	293,159
未払法人税等	143,479	72,957
賞与引当金	25,200	69,079
その他	314,820	396,107
流動負債合計	1,099,501	1,265,055
固定負債		
長期借入金	293,109	347,800
退職給付引当金	6,691	6,158
資産除去債務	24,212	29,423
その他	1,911	16,479
固定負債合計	325,923	399,861
負債合計	1,425,425	1,664,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,932	205,999
資本剰余金	185,932	185,999
利益剰余金	278,042	448,087
株主資本合計	669,906	840,086
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,074	13,331
その他の包括利益累計額合計	15,074	13,331
純資産合計	684,981	853,417
負債純資産合計	2,110,406	2,518,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	3,360,359	3,737,068
売上原価	1,305,485	1,493,544
売上総利益	2,054,873	2,243,524
販売費及び一般管理費	1,739,746	1,962,817
営業利益	315,127	280,706
営業外収益		
受取利息	212	87
受取配当金	100	—
デリバティブ評価益	7,329	3,520
保険解約返戻金	6,480	52,603
その他	5,772	7,218
営業外収益合計	19,893	63,430
営業外費用		
支払利息	10,814	7,418
為替差損	16,723	1,531
その他	1,304	1,795
営業外費用合計	28,842	10,745
経常利益	306,178	333,391
特別損失		
固定資産除却損	1,964	5,248
減損損失	922	1,648
災害による損失	4,802	—
情報セキュリティ対策費	27,240	—
その他	2,691	—
特別損失合計	37,622	6,896
税金等調整前四半期純利益	268,556	326,494
法人税等	116,091	155,246
少数株主損益調整前四半期純利益	152,465	171,248
四半期純利益	152,465	171,248



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,465	171,248
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,341	△1,743
その他の包括利益合計	2,341	△1,743
四半期包括利益	154,806	169,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,806	169,505
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。